

別紙

日新製鋼 株式会社 呉製鉄所 温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

日新製鋼株式会社 呉製鉄所

(2) 事業所の所在地

広島県 呉市昭和町11番1号

(3) 業種

高炉による製鉄業 2211

(4) 事業所位置図

別紙（平面図）のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年（2014）年度を基準とし平成27（2015）年度から平成30（2018）年度までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

< 基本的な考え方 >

当社は「環境と人にやさしい」商品づくりを通じ社会的貢献（環境負荷低減、リサイクル向上等）を果たすとともに、事業活動において環境保全に取り組むことは重要な経営課題と位置づけております。

とりわけ地球温暖化防止対策として、熱処理省略可能鋼板や自動車等軽量化用高張力鋼板などの商品を提供するとともに、地球温暖化ガスであるCO₂削減対策のため省エネルギー等に努めていきます。

< 方針 >

- 熱効率向上による省エネルギーの推進
- 歩留向上・リサイクル向上による省資源・省エネルギーの推進
- CO₂抑制につながる燃料転換の推進
- 環境負荷低減に寄与する商品の提供
- 社員各層への地球温暖化意識の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（千t-CO ₂ ）		
	平成2年度	基準年度 平成26年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	—	6,396	6,396

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（千t-CO ₂ ）		
	平成2年度	基準年度 平成26年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素	—	308	308

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量（千t-CO ₂ ）		
	平成2年度	基準年度 平成26年度	直近年度 平成26年度
メタン	—	5	5
一酸化二窒素	—	3	3
HFC PFC SF ₆	—	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂						
非エネルギー起源CO ₂						
メタン						
一酸化二窒素						
フロン類						
温室効果ガス 実排出量総計						
温室効果ガス みなし排出量						
目標設定の考え方						

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 粗鋼生産量 (千t)

単位：排出量(千t-CO₂)，原単位置量(千t)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 2 6 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 3 0 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	6,396	3,270	1.956	0.6	—	—	1.944
非エネルギー起源CO ₂	308	3,270	0.094	0	—	—	0.094
メタン	5	3,270	0.001	0	—	—	0.001
一酸化二窒素	3	3,270	0.001	0	—	—	0.001
フロン類	0	3,270	0.00001	0	—	—	0.00001
総排出量	6,712	3,270	2.052	0.6	—	—	2.040
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	—	—	0.657	—	—	—	—
目標設定の考え方	日本鉄鋼連盟 低炭素社会実行計画 「2005年を基準とした2020年BAU排出量を500(万t-CO ₂)削減」 を年率に換算して目標に設定。						

※ エネルギー消費原単位は、コークス製造委託工程分を含んだ全社原油換算原単位

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料、電力使用量の削減	燃料、電力原単位低減	省エネファン導入による、電力原単位改善
2			燃焼炉の燃料転換による、CO ₂ 原単位改善
3			モーターのAC化による、電力原単位改善
4			発電設備更新による、発電効率改善

※原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

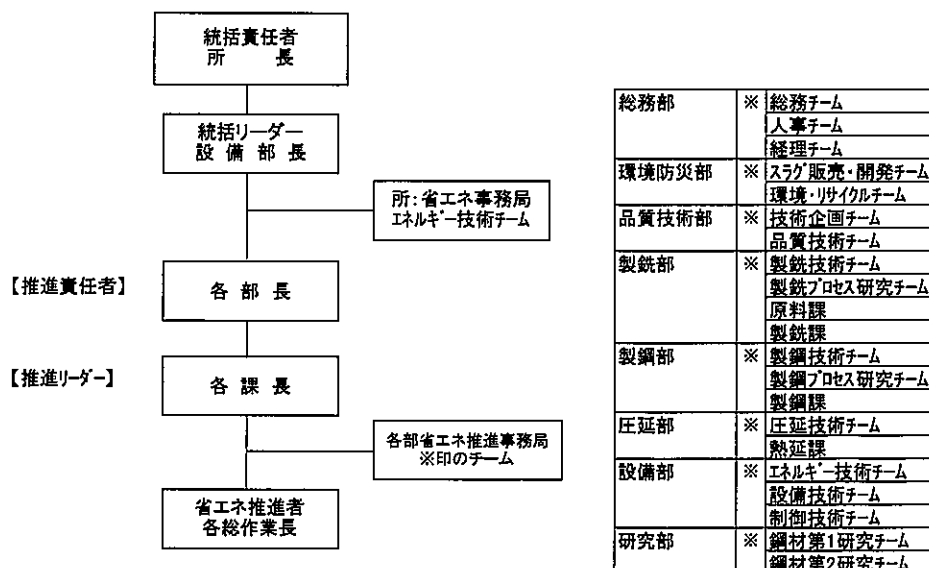
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の削減		両面コピー及び裏紙の再利用
2			分別収集による、リサイクル資源化
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

省エネ推進事務局を中心とし、毎年温室効果ガス削減計画の実施状況を把握すると共に問題点の抽出及び検討を行い、定期的に見直し等を行い継続的な削減に努める。

(3) 計画書等の公表

工場への備付による閲覧